

2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年3月16日

上場会社名 株式会社L e T e c h 上場取引所 東
 コード番号 3497 URL https://www.letech-corp.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 水向 隆 (TEL) 06-6362-3355
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の業績 (2020年8月1日~2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	11,943	△21.9	996	△21.4	510	△20.7	290	535.5
2020年7月期第2四半期	15,298	13.7	1,267	△21.3	643	△37.6	45	△92.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年7月期第2四半期	93.66		91.80					
2020年7月期第2四半期	15.55		15.12					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	37,364	4,284	11.5
2020年7月期	40,981	4,012	9.8

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 4,284百万円 2020年7月期 4,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年7月期の期末配当金については未定であります。

3. 2021年7月期の業績予想 (2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,643	△0.2	1,209	△32.1	290	△53.5	141	40.9	45.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期2Q	3,153,478株	2020年7月期	3,152,978株
② 期末自己株式数	2021年7月期2Q	77,458株	2020年7月期	2,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期2Q	3,106,023株	2020年7月期2Q	2,942,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、2021年7月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による影響を考慮し算出しております。

また、当社は2021年3月27日（土）14時45分より、四半期決算説明会を開催する予定です。下記URLよりご視聴ください。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

URL : https://www.bridge-salon.jp/salon_guide_rf/detail_58.html

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年10-12月期の実質GDP成長率が前期比年率11.7%増、日経平均株価は2万8千円台まで上昇し、30年ぶりの高水準をつけるなど景況感が改善する一方で、新型コロナウイルスの感染拡大は長期化し、2021年1月には緊急事態宣言が再発出されるなど、景気動向の先行きには引き続き注視する必要があります。

この間、当社の属する不動産業界におきましては、個人の住宅取得需要や投資家のレジデンス投資など、住居系の取引は活発に行われる一方で、新型コロナウイルス感染拡大の長期化は、オフィスや宿泊系施設の取引が難航するなど継続して影響を及ぼしております。また、地価の動向も読みづらい状況にあり、今後の見通しには留意が必要な状況が続いております。

このような事業環境の下、当社では経営計画に基づき各目標数値達成に向けて取り組むとともに、総合不動産会社としての地位の確立を目指し、事業を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高119億43百万円（前年同期比21.9%減）、営業利益9億96百万円（前年同期比21.4%減）、経常利益5億10百万円（前年同期比20.7%減）、四半期純利益は2億90百万円（前年同期比535.5%増）となりました。これは前年同期に解約違約金を特別損失に計上しており、当第2四半期累計期間におきましては当該事象が発生していないことから前年同期と比較して増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 不動産ソリューション事業

売上高107億55百万円（前年同期比22.6%減）、セグメント利益14億66百万円（前年同期比0.7%増）となりました。当事業セグメントは、期初に掲げた経営計画に基づき、積極的に販売用不動産の仕入及び販売についての活動を行いました。販売用不動産の仕入に際しては、不動産価格の方向感を見定めながら、当社の目利き力やノウハウを最大限活用し、駅近物件等の希少性の高い物件の選定に注力しました。

販売面においては、前年同期に大型の販売案件が含まれていたものの、当社の主力商品である「LEGALAND」の販売等を含め収益性の高い物件の販売実績の積み重ねが利益の下支えとなり、前年同期と比較して減収増益となりました。

受注状況につきましては、当第2四半期累計期間総受注高は76億19百万円、当第2四半期会計期間末の受注残高は29億79百万円となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高6億76百万円（前年同期比29.2%減）、セグメント利益1億50百万円（前年同期比60.5%減）となりました。当事業セグメントは、当社の安定的な収益基盤の指標となるセグメントであり、当社保有の収益不動産及び販売に至るまでの所有不動産からの賃貸収入を収益の柱としております。当事業年度におきましても引き続き安定的な稼働率を維持しているものの、長期的な収益との引き合いの状況を考慮して販売用不動産を売却したための物件数の減少及び新型コロナウイルスによるインバウンドの減少から民泊需要が減少したことにより、前年同期と比較して減収減益となりました。

今後においては、引き続き保有不動産の高稼働率を維持するとともに、所有不動産を積み増すことにより更なる基盤強化を図ってまいります。

③ その他事業

売上高5億10百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益39百万円（前年同期比25.8%減）となりました。主な内容としては、不動産コンサルティング事業における任意売却を中心とした不動産仲介並びに介護事業としての有料老人ホーム等の運営・管理、介護保険法に基づく介護予防支援、居宅介護支援事業を行っております。

当事業セグメントの介護事業において、新規にオープンした施設を含め、各施設において高い入居率を維持、好調に推移したものの、不動産コンサルティング事業における任意売却案件・仲介手数料の減少により、その他事業全体としては増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は373億64百万円となり、前事業年度末に比べ36億17百万円減少しました。

流動資産は310億79百万円となり、前事業年度末に比べ27億15百万円減少しました。これは主として、開発用不動産完成等に伴う「仕掛販売用不動産」の91億23百万円減少及び「販売用不動産」の60億8百万円増加によるものであります。

固定資産は62億84百万円となり、前事業年度末に比べ9億1百万円減少しました。これは主として、保有目的変更等に伴う「土地」の7億54百万円減少、「建物」の2億14百万円減少及び税効果会計における一時差異の増加に伴う「繰延税金資産」の1億23百万円増加によるものであります。

(負債)

負債は330億80百万円となり、前事業年度末に比べ38億89百万円減少しました。

流動負債は203億92百万円となり、前事業年度末に比べ4億46百万円減少しました。これは主として、売却に伴う返済等による「短期借入金」の16億13百万円減少、「1年内返済予定の長期借入金」の5億25百万円減少及び「前受金」の7億50百万円増加並びに共同事業の精算等に伴う「未払金」の7億29百万円増加によるものであります。

固定負債は126億87百万円となり、前事業年度末に比べ34億42百万円減少しました。これは主として、「1年内返済予定の長期借入金」への振替や売却に伴う返済等により「長期借入金」が33億20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は42億84百万円となり、前事業年度末に比べ2億72百万円増加しました。これは主として、「四半期純利益」2億90百万円の計上及び剰余金の配当18百万円により減少したものであります。自己資本比率は、前事業年度末の9.8%から11.5%と増加する結果となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の不動産ソリューション事業の売上高は顧客への引渡時に計上しておりますため、契約締結の有無に関わらず、引渡時期の集中等により売上高及び利益が大きく変動し、過年度並びに同一事業年度における四半期ごとの業績に大きく偏りが生じる場合があります。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大による事業活動への影響及び業績予想への影響につきましては、経済の不確実性に留意する必要は未だあるものの、2020年9月14日公表の通期業績予想は概ね計画通りに推移していることから変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,982,825	1,758,498
営業未収入金	215,835	209,516
販売用不動産	10,939,358	16,948,198
仕掛販売用不動産	20,006,201	10,882,657
その他	655,050	1,310,410
貸倒引当金	△3,670	△29,328
流動資産合計	33,795,601	31,079,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,960,883	2,746,631
土地	3,425,424	2,671,342
その他(純額)	31,340	21,595
有形固定資産合計	6,417,647	5,439,570
無形固定資産	35,375	33,357
投資その他の資産	733,362	811,518
固定資産合計	7,186,386	6,284,446
資産合計	40,981,987	37,364,397
負債の部		
流動負債		
営業未払金	514,613	664,472
短期借入金	5,813,636	4,200,632
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	13,332,258	12,806,736
未払法人税等	99,880	372,422
賞与引当金	57,310	48,362
その他	993,999	2,272,199
流動負債合計	20,839,697	20,392,826
固定負債		
社債	74,000	60,000
長期借入金	15,732,643	12,412,628
その他	323,470	214,617
固定負債合計	16,130,114	12,687,246
負債合計	36,969,811	33,080,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	790,016	790,091
資本剰余金	700,016	700,091
利益剰余金	2,522,178	2,794,178
自己株式	△36	△36
株主資本合計	4,012,175	4,284,325
純資産合計	4,012,175	4,284,325
負債純資産合計	40,981,987	37,364,397

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
売上高	15,298,505	11,943,104
売上原価	12,350,394	9,400,112
売上総利益	2,948,110	2,542,992
販売費及び一般管理費	1,680,597	1,546,449
営業利益	1,267,513	996,542
営業外収益		
受取利息	53	26
受取配当金	151	189
補助金収入	—	9,182
違約金収入	—	4,578
保険解約返戻金	29,183	81
その他	4,777	5,367
営業外収益合計	34,166	19,425
営業外費用		
支払利息	592,661	445,787
支払手数料	61,170	24,338
その他	4,406	35,647
営業外費用合計	658,237	505,773
経常利益	643,441	510,194
特別損失		
解約違約金	410,000	—
固定資産除却損	—	1,177
特別損失合計	410,000	1,177
税引前四半期純利益	233,441	509,016
法人税、住民税及び事業税	577,811	341,888
法人税等調整額	△390,146	△123,775
法人税等合計	187,665	218,113
四半期純利益	45,776	290,903

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。